

令和 6 年度 あなたの学位論文

あなたのタイトル

指導教員 あなたの指導教官 あなたの指導教官の  
肩書き

2025 年 3 月

あなたの所属 あなたの研究科 あなたの専攻  
あなたの専攻 2

提出者 あなたの名前



## 概要

[illegible]

キーワード: あなたのキーワード 1, あなたのキーワード 2, あなたのキーワード 3, あなたのキーワード 4, あなたのキーワード 5

# 目次

概要 .....	i
1 緒言 .....	1
1.1 我是京都大学の学生 .....	1
1.1.1 これは Typst のテンプレートです .....	1
1.1.1.1 もう書くことないねん .....	1
2 図表の挿入 .....	3
2.1 画像の挿入 .....	3
2.2 画像を横並びにしたいときは .....	3
3 文献の引用の仕方 .....	5
参考文献 .....	7
謝辞 .....	9
Appendix .....	11
A.1 Appendix の 1 .....	11
A.2 Appendix の 2 .....	11
A.3 Appendix の 3 .....	12
A.4 Appendix の 4 .....	12
A.5 Appendix の 5 .....	12
A.6 Appendix の 6 .....	12
A.7 Appendix の 7 .....	12
A.8 Appendix の 8 .....	12



# 図目次

2.1	京都大学(width: 100pt)	3
2.2	京都大学(width: 70%)	3
2.3	桂キャンパスの写真	4



# 表目次

2.1	表のキャプション .....	4
2.2	表のキャプション 2 .....	4
2.3	表のキャプション 3 .....	4



# 第 1 章

## 緒言

### 1.1 我是京都大学的学生

#### 1.1.1 これは Typst のテンプレートです

##### 1.1.1.1 もう書くことないねん

こんな感じで章段落を作ることができる。

- 1 = 緒言<Chap\_1>
- 2 こんな感じで **Heading** にリファレンスを設けられる。

- 1 文中で@リファレンス名で
- 2 @Chap\_1 みたいに参照可能

とすることで, 第 1 章 みたいに参照可能

- 1 改ページは
- 2 `#pagebreak()`
- 3 ができる。

```
1 改ページは  
2 #pagebreak(to:"odd")  
3 #pagebreak(to:"even")  
4 ができる。
```

odd で奇数ページ, つまり表紙から数えたら右側のページに, even で偶数ページ, つまり表紙から数えたら左側のページに改ページする。

## 第 2 章 図表の挿入

新しい章になると右ページになるようになっている。

### 2.1 画像の挿入

もちろん画像の挿入も可能。

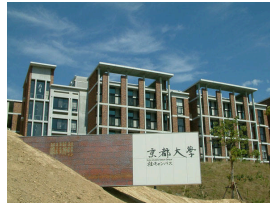


図 2.1 京都大学(width: 100pt)



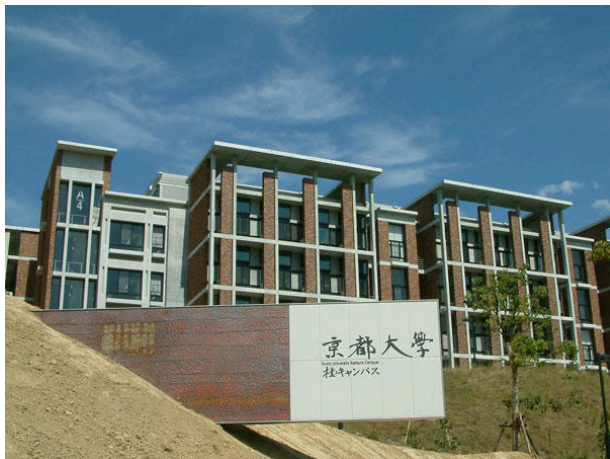
図 2.2 京都大学(width: 70%)

図 2.1 みたいに label をつけると, その label を参照できる。image 関数内の手続きは Typst のドキュメントを参照。

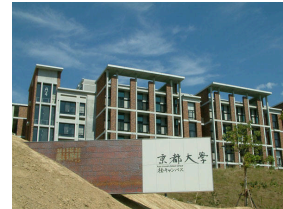
<https://typst.app/docs/reference/visualize/image/>

### 2.2 画像を横並びにしたいときは

subpar 環境で grid を使い, それを img で囲むと画像を並べることができる。



(a) 京都大学(width: 100pt)



(b) 京都大学(width: 48.5%)

図 2.3 桂キャンパスの写真

図 2.3 みたいに label をつけると、その label を参照できる。図 1a みたいに label をつける

と、**その label を参照できるようにしたかったんですけど、使う機会なくてやりませんでした。任せます。**

図 1b じゃなくて図 1.3(b)みたいにしたかってん。

表も tbl 関数で作ることができる。

表 2.1 表のキャプション

a	a
---	---

でもこれでは枠線があるので、`stroke:none` で消すと

表 2.2 表のキャプション 2

a a

必要に応じて `table.hline(stroke:1pt)` で線を引くとよい

表 2.3 表のキャプション 3

a	a
---	---

表 2.3 もちろん表も参照できる。

<https://typst.app/docs/reference/model/table/>

## 第 3 章 文献の引用の仕方

こうだよ<sup>[1]</sup>。

<sup>1</sup> こうだよ@tadokoro2025。

こうでもいいよ[1]

<sup>1</sup> こうでもいいよ #cite(<tadokoro2025>)

参考文献には文中で引用した文献だけが引用した順に並ぶ。



## 参考文献

- [1] 田所こうじ, "こんな文献存在しません、例のアレは絶対架空だとわかるので便利", にしても臭すぎる **19**, 114–514 (2025).





## 謝辞

Heading 番号を消せば謝辞も書ける。



# Appendix

Appendix 環境は  
#appendices[  
 = Appendix  
]  
のように書く。

## A.1 Appendix の 1

## A.2 Appendix の 2

### **A.3 Appendix の 3**

### **A.4 Appendix の 4**

### **A.5 Appendix の 5**

### **A.6 Appendix の 6**

### **A.7 Appendix の 7**

### **A.8 Appendix の 8**

こんな感じで Appendix を作ることができる。